

## 海外安全官民協力会議 第十八回幹事会開催結果【概要】

1. 開催日・場所 平成 18 年 12 月 8 日 金曜日 午後 4 時～午後 6 時

2. 出席者 幹事会メンバー 15 名  
オブザーバー 1 名  
外務省 領事局海外邦人安全課長 齋藤法雄 他

3. 議事要旨

### 議題 1 地域情勢等

海外邦人安全課長より報告。

#### (1) フィリピンにおけるテロの脅威

フィリピンのセブ州においてテロの脅威が高まっているとの情報があり、昨 7 日付でスポット情報を発出した。セブ島においては、東アジア首脳会議を始め、ASEAN 関連会合等が順次行われる予定となっているが、各国とも異例の警戒態勢で対応にあたっている。

#### (2) フィジー情勢

フィジーでは、政府と国軍との間で緊張が高まっているため、首都圏を含む全土の危険度を引き上げた。現時点で銃弾が飛び交うほどの切迫した情勢とはなっていない。今後情勢を注視し、事態が沈静化すれば、速やかに危険度を引き下げる考えである。

#### < 質疑応答、意見交換 >

##### ( 海外進出企業 A )

フィリピンのセブ島においてテロの脅威が高まっているとのことであったが、同国のその他の地域においても、同様に警戒すべきではないのか。

##### ( 海外邦人安全課長 )

御指摘のとおりである。テロの実行犯は、セブ島の警備状況が厳しいと判断し、例えば首都マニラのソフトターゲットに目標を切り換えることもあり得よう。

## 議題 2 全米・カナダ邦人安否確認システムのテスト運用について

海外邦人安全課担当者より報告。

全米・カナダ邦人安否確認システムの試験運用を 12 月 24 日から明年 1 月 8 日の期間で実施する。緊急事態発生時に備え、在留邦人、日本人旅行者及びその御家族等に予め本システムの操作に慣れていただくため、今次試験運用を実施することとした。

この機会に、多くの方に本システムを試していただき、本システムに慣れるとともに、利用上の問題点等をお寄せいただき、今後の検討課題としてシステムの改善等に活かしていきたいと考えている。

## 議題 3 新型インフルエンザに係る対応について

海外邦人安全課長より報告。

外務省では、「海外邦人の新型インフルエンザ対策に関する医療専門家委員会」を立ち上げ、12 月 1 日に第一回会合を行った。同会合での議論も踏まえ、現在外務省において検討している渡航情報の発出のタイミング等について御報告申し上げる。

フェーズ 4 直前の段階では、外務省の情報収集チャンネルを最大限に活用して WHO 関係者等から情報を入手し、旅行者に対しては「渡航の是非を検討してください」、在留邦人に対しては「予め今後の退避の可能性も含め検討してください」というメッセージを発出する。

フェーズ 4 - 5 の段階では、WHO は感染地域への渡航の延期を呼びかけると考えられる。外務省は WHO の方針に従い、旅行者に対しては渡航延期を呼びかけ、在留邦人に対しては、海外で勤務している日本人の家族等、事情が許す方の感染地域からの退避をお勧めすることとなる。ただし、WHO の感染拡大封じ込め措置によって封鎖された地域の邦人に対しては同措置への協力・対策を呼びかけることとなる。

フェーズ 6 になった場合、国際的移動が禁止され、また、不特定多数の人が乗り込む航空機等による移動自体が感染に繋がる危険性があると予想されるため、在留邦人に対しては、現地に留まって感染予防対策を行うことを勧め、感染した場合には現地医療機関を通じた治療を勧めることとしている。

< 質疑応答、意見交換 >

( 海外進出企業 B )

途上国の医療機関では、例えば減圧器等の設備が整っていない、病床が少ない等の理由により、日本の医療機関であれば受けることができる治療を期待できないという問題がある。

( 海外進出企業 A )

現地に派遣された社員本人の帰国の判断には難しい側面もあるが、流行の危険性を踏まえ、社員の家族等については帰国させることを勧奨し、予め社員等に対して選択肢を提示することも重要と考える。

( 海外進出企業 C )

当社においては、従来より社員の健康管理やその他のリスク軽減等の観点から家族とともに赴任するよう指導しているが、流行の可能性が高い地域については、家族の帰国を希望する場合には会社として協力する旨伝えているところである。

#### 議題 4 年次報告の作成等について

海外邦人安全課長より報告。

前回の幹事会で御賛同いただいた成果文書の作成については、「年次報告」という形で本会合開催時に提出し、本会合メンバーの了承を得た上で、関係各所に配布することとしたい。

構成としては、官民協設置の背景や目的、活動実績、今年度の活動報告、来年度に向けた取組み等を記載するとともに、メンバー各位より、今年度開催した官民協の開催テーマに沿い、且つ海外の安全対策を考える上で有益な資料を御提供いただき、付属資料として添付したいと考えている。

明年 1 月に開催予定の幹事会において、各社より御提供いただいた資料を検討することといたしたい。

4 . 次回会合 平成 19 年 1 月 26 日

以上